



## 【学校教育目標】・かしこく・やさしく・たくましく

 「良き伝統の中に流れる「友愛」の絆を大切にしたい  
 心広く大らかな児童の育成」

## ◎ 7 月の生活目標

・がっこうをきれいにしよう

## 目指せ「おそうじ名人」！ 整理・整頓のすすめ

校長 三上 正明

一足早く夏本番がやってきたかのように暑い日が続いています。感染防止のため歓声を上げることができませんが、プールでは水泳学習に取り組む子どもたちの元気な姿を見ることができます。1 学期もいよいよあと 3 週間となりました。先週は、保護者会にたくさんのご参加をいただき本当に有り難うございました。これからますます暑い季節を迎えます。コロナ感染や熱中症などで体調を崩さないよう健康管理に十分ご留意いただき、学期末を元気に過ごせるようご協力をお願いいたします。

さて、先日あるクラスの授業を見に行くと、「おそうじ名人になろう！」という題名で話し合いが行われていました。「自分では真面目に掃除に取り組んでいると思っている人が多いけれど、掃除の後にまだ汚れが残っていると感じている人も多い。」というアンケートの結果から、掃除を行う意味や『おそうじ名人』になるために頑張ることなどをみんなで考えていました。あれからどうなったかな？と思いい、次の週に掃除の様子を見に行くと、隅のほうのホコリも残すまいと掃いたり拭いたり、黙々と掃除に取り組んでいる子どもたちの姿がありました。私は思わず、「ずいぶんおそうじ名人になったね。」と褒めてしまいました。



黙々と掃除するおそうじ名人

1 年生の掃除場所には 6 年生の姿があります。6 年生のお兄さんやお姉さんが掃除のお世話をしてくれているからです。何気ない掃除の作業ですが、1 年生にとっては、ほうきがうまく扱えなかったり、雑巾がかたく絞れなかったり、なかなか要領よくできずにいました。そんな 1 年生に 6 年生たちは優しく手本を示しながら声をかけ、丁寧に教えてあげています。『おそうじ名人』の大先輩である 6 年生たちのおかげで、1 年生もずいぶん『おそうじ名人』に近づいてきました。

日本には古くから「掃除」という文化が根づいています。たとえば年末になると、神社仏閣では「すす払い」が行われ、それが報道等で伝えられると、一年が終わろうとしていることを実感したりします。サッカーのワールドカップでは、試合後、自主的にごみ拾いをする日本のサポーターの行為が、世界中から賞賛を浴びたりしました。また、整理・整頓・掃除・清潔・躰、これらをまとめて「5 S」と呼び、掃除を大切にしている企業も日本には多いと聞きます。

学校教育の中でも掃除はとても重視され、どこの学校でも掃除の時間があります。学校では多くの人が生活しているため、ほこりや汚れも多く発生するので、毎日掃除をして生活の場を衛生的に保つ必要があります。掃除をして学習の環境を整えれば、気持ちよく過ごせて、「やる気」がわいてきます。また、掃除を通して、物を大切に扱う、いつまでも使えるようにするということを学ぶこともできます。このほかにも、視点を変え、こんな効果が考えられます。

○みんなで役割分担をして、協力して行うことで、責任感や協調性を身に付けることができる。  
 ○「こういう手順で行い、ここで終わりにする」といった流れをあらかじめ見通して、計画的に行う、つまり、段取りよく行う力を身に付けられる。

○「こんなところにも汚れがある」など、周囲の状況に気づく力が育つ。

○「感謝の気持ちが芽生える」「心が磨かれる」など、人間性が培われる。

学習指導要領の特別活動編「学級活動」の中で「清掃」は、次のように位置付けられています。『社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解、掃除などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要なことについて主体的に考えて行動する。』

子どもたちの勤労観や社会性の育成、そして豊かな心を育てるためにも、日本の「掃除」という文化を、学校の教育活動の中でも大切にしていきたいと考えています。

ところで、掃除と相通ずる行為に「整理・整頓」があります。整理・整頓とは、必要なものが必要な時に、すぐに取り出せるという状態になっているということです。これは、身の回りのものだけでなく、頭の中の知識についても同様です。学んだ知識を必要に応じて引き出して使い、考えたり、まとめたりするといった学習や諸活動を行う際にも、頭の中が「整理・整頓」されていることはとても重要です。そのため、一般に「整理・整頓」ができる子ほど「学力」が高い傾向があるとされています。また、私が以前、県の 3 つの達成目標という取組で規律ある態度について調査を行った際、「整理・整頓」と「丁寧な言葉遣い」、「落ち着いた行動」に関する結果には、強い相関関係があることがわかりました。落ち着いた学習環境の中で学力向上を図っていくためにも、整理・整頓について家庭と連携し合いながら取り組んでまいりたいと考えます。

1 学期も残りわずかとなりました。「整理・整頓」に努め、「おそうじ名人」になって、生活の場をきれいにし、1 学期を締めくくり、夏休みを気持ちよく迎えてほしいと思います。